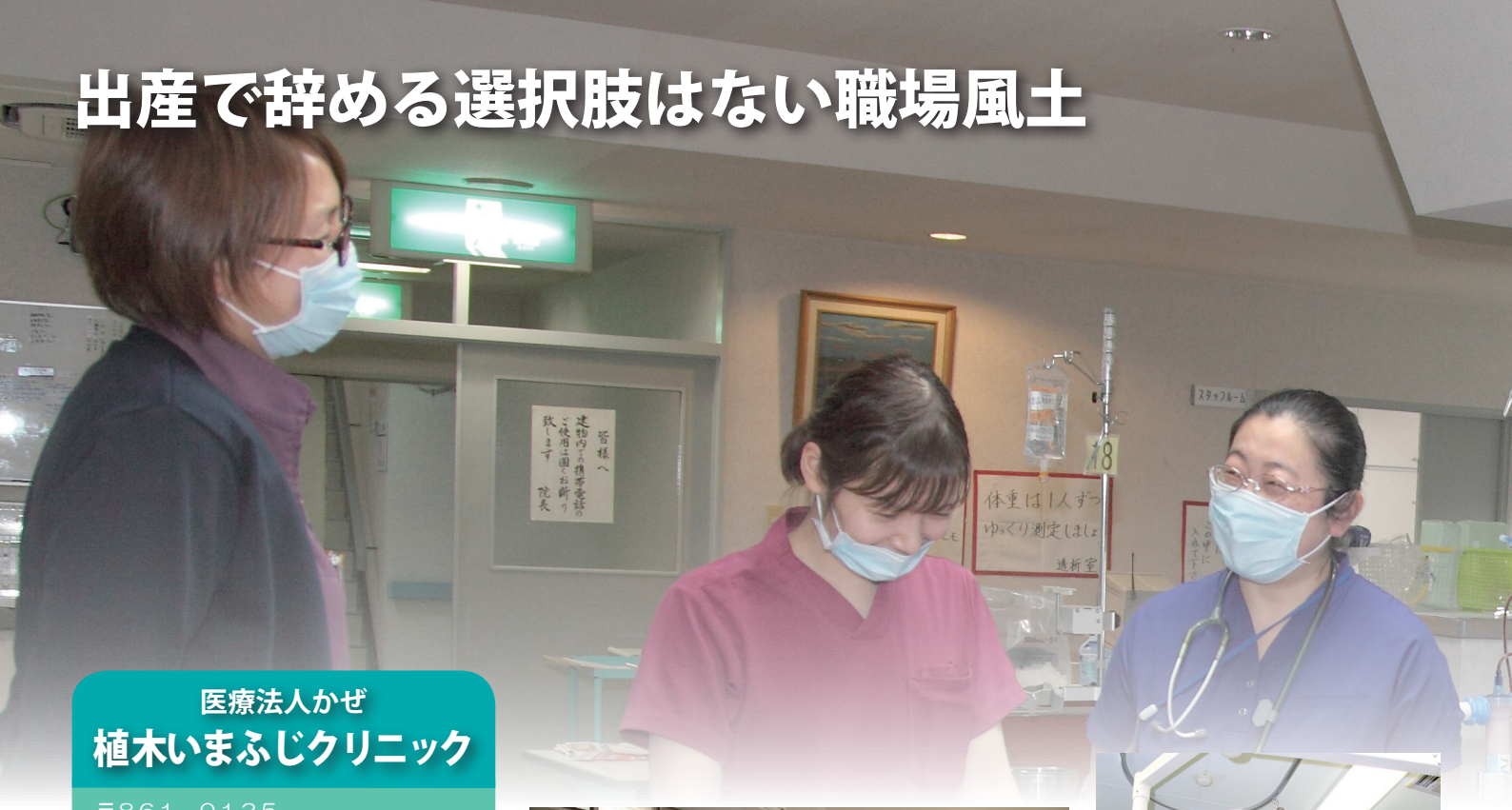
出産で辞める選択肢はない職場風土



医療法人かぜ
植木いまふじクリニック

〒861−0135
熊本市北区植木町一木597
TEL 096−272−5100
FAX 096−272−5098

●代表者／今藤　雅之（理事長）
●業　種／医療法人
●従業員数／53名
●事業概要／泌尿器科、循環器科、透析センター
【http://imafujiclinic.wixsite.com/home】









結婚～子育てに関する企業の取り組み

● 結　婚

新婚旅行のために取得できるハネムーン休暇と結婚祝い金があります。結婚祝い金は入籍のときと披露宴のときの２度出しています。

● 妊娠・出産

妊娠が報告された時点で夜勤は免除され、体に負担が少ない部署に配置転換されます。また男性には配偶者の出産前後に慶弔休暇５日間が付与され、ほとんどの人が取得しています。

● 子育て

子育てや家庭の事情などを配慮して、子どもが小学校に入学するまでは短時間勤務の期間を延長できます。また子育て中の職員は、夜勤や残業がなく負担の少ない部署に配置され、突発的な子どもの病気などでも休みが取りやすくなっています。看護休暇は時間単位で取れます。





看護師
柏尾　泉美 さん

職員の声

４歳と１歳の女の子を出産したとき、産前・産後休業と育児休業を取得して職場に復帰しました。最初の子を妊娠したとき、つわりがひどく３カ月間仕事を休んだときも、「大丈夫ね。」と何度も気遣ってもらいました。職場の周りの方々の理解があり、助けられました。

保育園の送り迎えがあるので短時間勤務ですし、体力的に負担の少ない部署に配置していただいています。

お互い様という感じで、子どもの病気などで急に休まなくてはならないときも、理解と協力をいただいています。



アピールポイント

1 働きやすい勤務シフト

毎月の勤務シフトを決めるとき、最初に職員それぞれが休みの希望を出し、それに沿った勤務日程表が組まれます。本人の休みの希望が優先され、子育てや家庭の事情などを優先した勤務シフトを取り入れています。

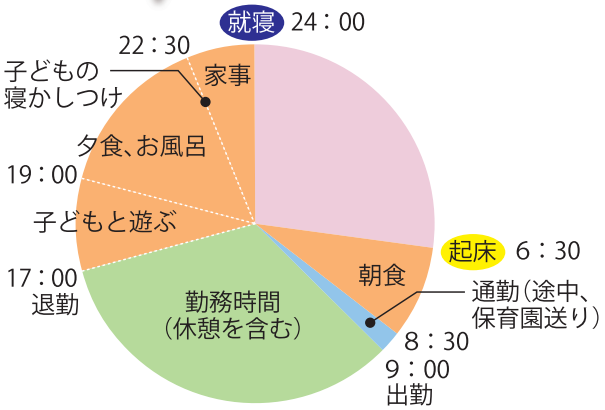
2 子育てに積極的な男性職員

長期ではありませんけれども育児休業を取って積極的に子育てに参加する男性職員がいます。27 年度と 28 年度に育児休業を取得したのは５名で、そのうち１名が男性でした。看護休暇の取得者数は平成 27 年度が女性６名、男性２名、28 年度が女性４名、男性２名です。

3 高い育児休業の取得率と復職率

育児休業の取得数は 27 年度が２名、28 年度が４名で、全員が取得して復職しています。過去 10 年間では育児休業を取得した人数は 13 名、延べ 23 名のうち 22 名が取得し、その全員が復職しました。

1日のスケジュール



Interview



事務長　工藤　利明 さん

私は４代目の事務長ですけれども、２代目事務長が働きやすい環境づくりにとても熱心で、職員が結婚、出産しても働き続けられるように各種制度を先駆けて就業規則に取り入れてきました。

看護師はもちろん事務課や栄養課の職員についても産前・産後休暇と育児休業を取得するのが普通になっています。出産で辞める選択肢はないような感じで、職員みんながお互いに助け合うのが当たり前になっています。そういう職場風土が根付いていると感じています。